



奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kizuna

No. 186

2014
Jan. 1

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人：
関西障害者定期刊行物協会
編集人：奈良県自閉症協会
支部長&事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町84-10
購読料1部 100円
会員は会費に含まれています。

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

明けましておめでとうございます。2014年の新しい年を迎えました。今年も特定非営利活動法人奈良県自閉症協会活動へのご協力よろしくお祈りします。

前回お話したように総合福祉法のサービスの中で、とりわけ障害福祉サービスが必要な人は3分の2が意思決定支援の必要な知的障害・精神障害の人たちです。現在このサービス内容を定めるための、障害程度区分の問題がクローズアップされています。精神障害の人たちの勉強会に参加した時、閉じこもり、引きこもってしまって洗濯も掃除もしないで家のがひっくりかえっている人がおり、私たちはには重度に見えるし何とかしたいが、支援の必要性を説明しても認められず、らちがあかない。今の支援区分なら一次判定で1か2、あるいは、区分さえ出ないかもしれないというのです。そんな中、刑を終えた出所者のことが自立支援法で大問題になり、また、大運動となりました。一対一の対応と、きめの細かい対応が必要な人が多くいました。従来の障害程度区分では1か2の人でも、今では、だいたい二次判定で区分6になるようです。これは運動の成果でした。しかし、精神障害と発達障害では、まだこのような運動はありません。同じように、発達障害の中でも特に、高機能の自閉症の人たちにとって、障害制度

サービスがいるのかいないのかが問題となっています。今の制度改革になって、発達障害の人たちも全てのサービスを利用できることになっています。

東京の話ですが、発達障害支援センターに相談中の人で、高機能で大学も出ているが、どうしても就労に結びつかない。行く場がない人が多くいるようです。この人たちに、どう支援するかを考える中、入所・通所施設やグループホーム等施設の支援の話ですが「生活介護事業」を利用してはどうかという

謹賀新年

ことになりました。就労Bというのがあるが、職員配置が極端に少なく、このような、非常に手がかかり、しばしば一対一の細かい対応が必要な人にはむきません。生活介護事業とはもともと知的障害の通所施設の重度の人の施設制度支援をつくるための過去20年の運動の末、ようやく、自立支援法でこの生活介護事業になりました。それまでは唯一、通所更正施設の職員配置が利用者7.5人に職員1人の制度しかありませんでした。生活介護事業だと1.7:1(利用者:職員)と雲泥の差です。この「生活介護事業」という名前は変だと思われるでしょうが、もともとは、私たちが「社会参加支援」とか「活

動支援事業」にして欲しいと要望していたもので、厚労省の担当者も理解を示していたが、新しい制度を財務省に持って行った時に、この名前ではお金を引き出す為に納得してくれないのではということでした。活動というと、どうでもいいととられてしまい、財務省からお金を引き出すためには、「介護」の名前をつけた方が良いということで今付いているのです。今度の「意思決定支援」を入れる時にも生活介護事業を生活活動支援にして欲しいと申し出たが、現在の制度がもう少し定着するまではこのままにしておき、次の改訂では活動支援に改めていこうということになっています。実際に生活介護事業を始め、親も本人も納得し、行政区分判定に出したところ、こだわりの強い様子を実際見た検査官は区分5ぐらいだといわれた人が、各市町村では区分1か2しかでないようです。そこで、このような人は一律区分3にしています。なぜなら生活介護は区分3以上でないと思えないからです。こういうこともあり、今、従来の区分の見直しが行われています。現在の厚労省モデルを当てはめてみると、上記の人は一時判定で区分4から5と出るようです。でも6にはなりません。区分は平成28年に新しくなるようです。一部の身体障害の人などからは、「区分をなくせ」という強い声があるよう

ですが、我々は知的・精神は何らかの区分の仕組みは必要であり、区分はなくすべきではないと思っています。我々の必要なサービスが認識されないからです。区分の改良は必要で、内容も変えていくべきだが仕組みは大切です。必要なサービスは区分をしっかりと上げていくことが大切です。さきの精神障害の人のように、洗濯も掃除もしない人には区分6を与えるべきであり、大阪で事件を起こした発達障害の人のように30年間引きこもっているような人こそ、対人関係を構築し、人を本当に信頼していく環境を作っていくことは重要です。この為には、濃厚な支援が必要であり、この人こそ区分6でないといけな思われます。この人たちは自分でお金も使うし、移動も自分で出来るでしょう。しかし状態からいったら、障害程度区分6にすべき人であります。そういうことを

社会的にきちんと認識してもらう必要があります。障害の重さと支援の必要度が高いということを認識してもらうことが重要です。そのためにはきちんとした区分を出して行くことが必要だろうと考えます。

(河村)

////////////////////////////////////

息子のインフルエンザ 予防接種から

インフルエンザの接種時期が来ると、毎年憂うつで…でも年に一度のことだし仕方ないと思っていました。また、大きな怪我や病気もなくやってきたので、年に一度の予防接種くらいしか医療行為を受けることがなく、このわずかな間の痛みを我慢するという事に慣れておかないと、これから先採血や点滴などが必要になった時にまた大変な思いをすだろうと思うと、やはり積み重ね

ておかねばならない経験ではないかと思うのです。そして母の私も毎年のタイミングで切り出そう、病院の予約も必要だし、毎回待合室でも注目を浴びなきゃいけない、ああ～、いつ行こうかな～…なんて思っているうちに去年はついに受けそこなっていて、運悪く下の子も合わせ親子三人で感染してしまい最悪の結果に…。ああもう、いや…。大暴れがわかっていて小さい時は、かかりつけの病院へ連れて行き、本人に何も言わずにいきなり取り押さえて注射、という手も使えたのですが、病院にくるたびに注射をされると思うようになると普通の診察にも支障が出てしまい、ごまかすのも限界になってきました。

接種してもかかってしまった年もあったので、本人はそのしんどさは知っています。そして楽しみにしていた予定がごとくキャンセルに

なった嫌な経験も身にしみています。それを本人によく言い聞かせ、「これは、受けなければならないんだよ」と納得させるのですが、順番が迫ってくるとウロウロ、ソワソワ。本を読んだり携帯であそばせたり、色々気を紛らわせてもやはりいざとなると、ちょっと小暴れ、やっぱり私と看護婦さんが抑えて注射、終わるとシクシク…年々からだも大きくなるので待合室でも目立ちます。その帰りは「がんばった、偉かった」と言ってケーキや好きな本を買ったり、接種のお金も高いのに、さらにかさむ出費…。

そして息子が中学になった昨年、接種も一回になったのでよし、今年は思い切っていつもより早い時期に！と学校の代休の日に私と二人で病院に行きました。やはりしぶしぶでしたが、もう自由なスタイルで注射を受けれたらそれでいいわ、と本人に

任せることに。今までは先生が打っていたのですが、中学生から看護婦さんでも注射できますよといわれました。本人は「看護婦さんに打ってもらいたい」というのでそうすることに。「ママはあっち行って」というので私はこっそりカーテンの隙間から見ていました。何やら楽しそうな雰囲気、そして注射の針が刺さる瞬間から終わりまでずっと直視している息子にビックリ！終わった後「痛くなかったよ」と笑顔でケロリ。今まで注射の針が刺さるのが怖いのだと思って、ずっとおさえて目をそむけさせていたのですが、注射器の針がいつ刺さるのかを見てない方が怖かったようです。つまり「痛いのはいつからいつまで、始めと終わりがわかることでがまんができた」ということだったのでしょう。今までのあの憂鬱とドタバタ騒ぎは何だったのでしょ。これまで本人

がちゃんと周囲の人に伝えられない事で、うまくいかない原因がわからずに何度も繰り返しながら試行錯誤してきた事は沢山あります。しかしやっと気付いた時にいつも思うのは、本人の納得のいくやり方を許せる限り重視してやることだったのだと、いつも気づかされる母です。それさえ忘れなければこんな風乗り越えて行けることもあるのかな、と小さな希望がみえた出来事でした。



スケートのエピソード

冬 といえば、寒くて寒くて、外で遊ぶことより、家の中でTVやゲームばかりといった感じで、つつい家の中にもってしまいます。なので、うちは、私がスケートが好きだったので、娘が年長の冬、スケート初体験に、お父さんにも協力してもらって行きました。残念ながら、奈良県には現在スケート場はないので、大阪の柏原市青谷にあるアクアピアアイスアリーナに行きました。このスケート場のいいところは、屋内なので天候に左右されることなく、初心者にはありがたいイス型そりと、パイプ型そりがあることです。料金は20分300円です。ただ、一番の難関は、スケート靴を履くことです。なかなか動くので履かせにくい。重いから、嫌がるかも。

ができるのはもちろんのこと、二階から一階のスケートリンクが見れるので、楽しいです。真ん中のほうには、上手なフィギアの卵の子供たちが、よくくるくる回っています。療育手帳は使えませんが、貸靴は、ホームページから無料券をプリントアウトしてもっていただけます。娘は小さい頃は公園でも、滑り台なども怖くて滑ることがあまりできなくて、ブランコのみするような、自閉特有の興味の狭さで、何をしてあげたら、一緒に楽しめるのだろうか？と、考えさせられました。娘の場合、スケートを体験したおかげで、滑る楽しさを知り、インラインスケートを始め、キックボード、自転車、一輪車など。こまものばかりですが・・・興味が広がってきました。また、スキーやスノーボードにも挑戦しようかと、考えています。

それをクリアしたら、早速、イス型そりを借りて、スケートの体感からはじめました。いきなり氷の上に立つと、滑って一気に恐怖感がでて、嫌になってできなくなると思ったのでそれに、親もそれほど上手ではないので、支えがあると安心です。滑ってあげると、反応がめちゃめちゃ良くて、にっこり顔！そこから、少しずつ、氷の上に立ち、少しずつ、少しずつ娘のペースに合わせて、休憩しながら、滑りました。氷にも慣れて、怖いと思う恐怖感がなくなり、スケートの楽しさがわかったいい初体験でした。次の年には、パイプそりにステップアップして、少しずつ、上手になっていくので誉めることも多く、本人の自信にもつながったようでした。自分なりに、こけないように工夫しながら、自分のペースで滑るようになってきました。

今 年の冬休みのご褒美は、電車に乗って、枚方パークで、スケートでした。ここは屋外スケートリンクでそりはないのですが、屋外ならではの爽快感と、子供用と大人用にリンクが分かれていて、横にスノーランドがあるので、小さいお子さんは、雪遊びで楽しめるようになっていました。詳しくはホームページを見てください。ここは、入場料が療育手帳使えますよ。

何 を始めるにしても、0からのスタートです。焦らず子供のペースで、楽しさをわかってもらうことから始めると、自然と子供からやろうと誘ってきます。かかわりにくい特性の自閉ちゃんだからこそ、楽しさがわかるまではちょっと、その子のペースがあるので、ゆっくり、ゆっくり。楽しいことを増やしてあげましょう。療育部 棕本

お友達も誘ったり、頑張ったご褒美に連れて行ったり、遠方なので多くはいけませんが、毎年1回か2回、続けてきました。

現 在、中学一年生、かなりのハイスピードで、滑って、私は追いつけません。

スケートが体験できたことにより、自信ができたようで、小学校一年生の時に家でインラインスケートを始めました。

スケートと、同じだね。と思うことで、食いつきもよく、怖がりなので、これも超スモールステップで、進めていきました。少し滑れただけで、いっぱい誉められることなので、娘はまって、毎日滑るものだから、どんどんうまくなっていききましたね。これも、スケートの上達に役にたちました。アクアピアアイスアリーナのもう一つの良さは、二階に食堂があり、リーズナブルな食事

療育部活動報告

11月18日(月)、12月9日(月)、田原本福祉センター多目的室にて河合先生による動作法からみた自閉症児(2回目、3回目)の勉強会がありました。

2 回目では、子供さんと来られた方がいたので、子供さんに参加していただき動作法を実際見せていただきました。

その後、一人ずつ子供さんに動作法をためした感想をきいて、個々にあった動作を細かく教えていただきました。動作法を少しずつみあげていき、本人の重心、正しい姿勢、体の動かし方を知る事により心の安定、集中力、スムーズな動きを獲得し、意欲、自立へとつながっていくと教えていただきました。

3 回目では、今回も前回とは違う子供さんと来られた方がい

たので、子供さんにモデルになってもらい動作法の基本をひととおり見せていただきました。

その後、参加者さんの質問にあった動作を教えていただきました。

全3回でしたが、個々にいろいろ聞いていただき細かく教えてもらえとてもいい勉強会になりました。

河合先生ありがとうございました。
療育部役員一同

♪参加者さんからの感想♪

動作法を教えていただいてから早速家族に試してみました。家族の感想として背筋を伸ばす動作法により、硬くなっていた背筋が伸びた感覚だそうです。猫背がひどくなってきた我が子にもやっていきたいと思いました。

施設見学と食事会の お知らせ

2月に療育部会として施設見学と食事会を予定しています。

今回は、奈良市帝塚山にある「あおはに会、イーハトーブSORA」さんへお伺いいたします。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。会員外の方もぜひご参加ください。

日時：2月4日(火曜) 11:00～見学、11:30～13:30 イーハトーブSORAさんにて食事会

住所：奈良市帝塚山南4-11-14

最寄駅：近鉄富雄駅から1.7km

電話番号：0742-95-7227

定員：15名

食事会費(会員)：1000円

(会員外)：1200円

※現地集合、現地解散ですが、南部の方や道が分からない方、交通手段のない方は可能なかぎり乗り合わせ

等お応えしたいと思っていますので役員までお知らせください。

お申込み・お問い合わせ

岡田 090-9041-5229

携帯アドレス yellow-raum.0210@docomo.ne.jp

先日来、会員ご紹介で原稿いただいている方のメッセージは紙面のスペースの関係上、今月号の掲載となりました。申し訳ございませんでした。



習い事頑張ってます！！

— んにちは、地域の支援級の小学校5年生の男の子です。小さい頃から絵を描くのが大好きで上牧町のアトリエ創佳舎(フレンズまきば)で絵を習ってます。障がい者も一般の方も垣根を越えて習われて、アートを通じてまわりに広く理解してもらえる作品展や地域との交流を目指されています。10歳から75歳までの方が来られていて皆さん自分のペースで独創的な自分の思う世界をいきいきと描かれています。50代の女性の障がいの方でかんでんコラボ21で最優秀賞受賞され大阪で個展をされた方もおられるそうです。曜日によって静かな日、子供が多い賑やかな日があります。我が息子は習い始めたところですがマイワールド全開で自由に絵を描く時間を楽しんでいます。

音が苦手、人混みが苦手、偏食、あと散髪や医療機関での受診、習い事など我が家ではこんな風に頑張ってます、またはこんな風にすればできるようになりましたなど各ご家庭での様々な工夫をきずなに載せたいと思っています。

是非、岡田までお寄せください
療育部役員 岡田 090-9041-5229

PCアドレス

masami_okada0210@yahoo.co.jp

携帯アドレス

yellow-raum.0210@docomo.ne.jp



♪お知らせ♪

☆今年のNHK ハートフォーラム
今回は滋賀県自閉症協会の担当です。
日時は2014年6月15日(日)
会場:G-NETしが(近江八幡市)
本田秀夫先生(精神科医・日本自閉症協会理事・山梨県立こころの発達総合支援センター所長)を講師に迎えての講演が予定されています。前もって先生の著書を読んでおくのもいいです。岩波新書の「自閉症スペクトラム」単行本「アスペルガー症候群のある子どものための新キャリア挙行く:小・中学生のいま、家庭でできること」単行本「子どもから大人への発達精神学—自閉症スペクトラム・ADHD・知的障害の基礎と実践」など
☆日本自閉症協会第23回全国大会 in 山形

日時:2014年9月13日(土)・14日(日)
会場:山形テルサ
(JR山形駅西口より徒歩3分)
テーマ『さあ、みんなで「自閉症スペクトラム」について考えよう、山形で!』
基調講演 本田秀夫先生
前回の北海道大会もよかったです。日本自閉症協会の全国大会は内容が濃くすばらしいものですぜひ多くの方の参加をお願いします。今から予定にお入れください。後日申し込みの詳細をいとしご・きずな協会HPでお知らせします。

☆ASJ 共済
「厚生労働省発障1128第1号 平成25年11月28日 社団法人日本自閉症協会 会長 山崎 晃資 殿
厚生労働大臣 田村憲久:特定保険業の認可について 平成25年11

月26日付で申請のあった標記のことについては、保険業法等の一部を改正する法律(平成十七年法律第三十八号)附則第2条第1項に基づく特定保険業に認可しましたので通知します。記 認可年月日 平成25年11月28日」と、やっと認可がおりました。日本自閉症協会が今回、公益社団法人とならず一般社団の申請をするのも、この自閉症スペクトラムのための総合保障というセーフティネットである共済事業を残すのが大きな理由でした。会員しか加入できない分、保障内容が手厚いため、全国で残してほしいという要求があった為です。奈良の皆様はもっともっと利用されると良いと思います。これからは日本自閉症協会が一つの保険会社となります。問い合わせ・申し込みは、03-5565-2020に電話すれば専属スタッフが対応します。

SKIP教室 移転のお知らせ

自閉症スペクトラムの支援の勉強をしたい、TEACCHプログラムの事をもっと知りたいと 会員有志で新大宮からスタートした「SKIP勉強会」。
その後助成金を頂き、大和郡山市泉原町に場所を移して活動を続けました。多数の子どもさん達や保護者の方、支援者の方にご協力頂きありがとうございました。
この度、下記へ移転することになりました。
以前よりスペースは狭くなりますが 個別支援やDVD等、少人数での

勉強会をこれまで通り、新たな部屋で続けていきます。新年度の助成金事業の計画と「奈良 HAHANA キャラバン隊」の講演活動も調整しながら、活動場所の1つとして会員の皆様にも是非活用して頂けたらと思います。よろしくお願いたします。
【移転先】
奈良市北之庄町1丁目7-5
ウエストアベニュー 308
(大和郡山イオンより 徒歩3分)
*現在の泉原教室は 1月末まで
★活動資金の為のフリマ参加
不用品、手作り品等、ご提供のご協力お願い
SKIPやキャラバン活動の資金にと 昨年度より役員にて「フリー

マーケット」参加等、資金活動を開始しております。
皆様のご家庭で眠っている不用品、趣味で作られている手作り品等、ご提供して頂ける方がおられましたら、ご協力をお願いいたします。
下記まで連絡頂くか、近くの役員までご連絡下さい。又は、部会や勉強会の時にご持参頂けましたら有難いです。よろしくお願いたします。
連絡先: TEL & FAX
0744-33-4755
(留守電にメッセージを)
asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp
(キャラバン連絡先と同じ)

発行人: 関西障害者定期刊行物協会
住所: 〒543-0015
大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
編集人: 河村 舟二
定 価: 100円



一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行